

明星院だより

発行所
広島市東区二葉の里
2丁目6-25
明星院
TEL 082-261-0551
FAX 082-262-1827



傘地藏の足元を
荘厳する著栽

暑中お見舞い
申しあげます

令和三年
猛暑

災厄と祈り

世の中を
一変させる
大きな災いも、
家庭や自身に
降りかかった
問題も、
心に広がる
不安や恐れに
変わりない。
何かにすがり、
受入れ、
折り合いを
つけてきた
その先には
人々の祈りがある。

成し遂げられないものは

この世にない

マハトマ・ガンジー
(宗教家)

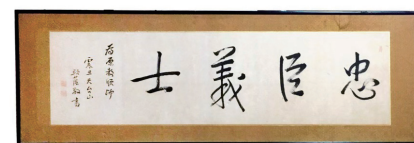


補陀落山図が完成

伝説によると補陀落山とは、南インドの海岸にあると信仰される観音菩薩の霊場です。このたび、奈良東大寺の千手観世音菩薩が安置されている厨子の壁画の模写が許可され図画されました。当山御本尊千手観世音菩薩安置の宮殿背面に表具され、これにより荘厳がますます増すことができました。



本堂に安置の赤穂義士木像の背後に高野山義士顕彰会から、かねて奉納いただいた扁額『忠臣義士』と浅野長勲公筆の『展赤穂義士墓』の漢詩を設置しました。参拝の折に是非ご覧下さい。



臨別孤刀表至情
智謀欺世是忠誠
弔人陸續誰無淚
泉岳寺中義士塋

坤山源長勲

編集後記

「コロナきて経は黙読 手水なし」

☆各地を襲った、線状降水帯による大雨被害による犠牲者の皆様に衷心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

☆初詣に来ていた家族連れの子供たちが、十二支地藏尊の前で声高らかに「十二支のうた」を歌いながら廻っているのに驚かされました。思わず「どこで知ったの」と尋ねると通っている幼稚園で日常歌われているという。この歌は退職した二葉幼稚園元教諭の作なので歌詞と楽譜を奉納額の横に並べて掛けさせてもらいました。

☆七日は早や立秋とはいえ大暑の砌り、皆々様の御自愛をお祈り致します。

高山	須麻子	中林	昭美	三浦	絹枝
田口	カズコ	中村	幹枝	三浦	光枝
竹腰	昭子	西川	修三	三瓶	和子
竹野	イツ子	西木	洋子	三木	栄子
竹本	タミエ	西田	利枝	道下	幸枝
多田	澄子	西本	健三	光川	イクエ
辰崎	悦子	西本	淑子	三村	幸枝
辰野	綾子	能美	良子	宮崎	忠志
辰巳	佐々夫	橋本	武夫	宮崎	道子
辰巳	カメヨ	花岡	香代子	宮田	スズエ
田中	トシ子	濱本	和子	宮本	通子
田村	求弘	林	カメノ	村上	富美子
田村	睦子	林	美保子	村中	淑子
田村	八重子	日置	美代子	村中	絵美子
俵屋	宏三	東	昭三	村本	芳子
団原	みゆき	日高	松枝	森岡	輝子
辻	雅子	桧山	悦子	森下	ユリエ
土本	光子	平本	政雄	守矢	好美
坪内	保	平本	澤子	森脇	タミエ
寺田	記代	桧田	明	矢部	都美枝
寺田	利雄	桧田	幸子	矢部	裕子
寺田	敏彦	藤岡	孝員	山県	操
徳山	美代子	藤岡	義忠	山県	増雄
富田	和子	藤川	良美	山瀬	光一
中合	カナエ	藤田	美代子	山瀬	妙子
長迫	博子	藤原	高子	山新	昭子
中土井	志恵子	堀内	唯良	山下	則男
中野	隆吉	堀田	サワノ	山下	和美
永橋	正浩	増田	紫折	山根	慶子
永橋	律子	真鍋	冴子	吉村	正二郎
中原	トキ子	真鍋	萩枝	八木	恵
中原	達重	丸本	静江	八木	泰子

弘法大師御誕生千二百五十年記念事業

お大師様のご遺徳を讃え

大師堂・御影堂を新築

浄財勧進のお願い

檀信徒の皆様には、ご本尊様・お大師様のご加護のもと、益々ご健勝にて日々ご精励のことと存じます。平素より当山外護の為格別のご信助を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当山では、来る令和五年に迎える弘法大師御誕生千二百五十年の記念事業として、大師堂・御影堂の新築を発願いたしました。

全国各寺院では、大師堂を高野山の伽藍にならって御影堂と呼称し、木像を安置していても御影（お姿を浄書したもの）を安置しているとしてそうに呼んでいます。しかし、当山では現在護摩堂に安置している木像（北宗俊作）を大師堂本尊とし、高野山奥之院に入定されているお姿（多井隆石筆）を御影堂本尊としてそれぞれ奉安荘厳するものであります。

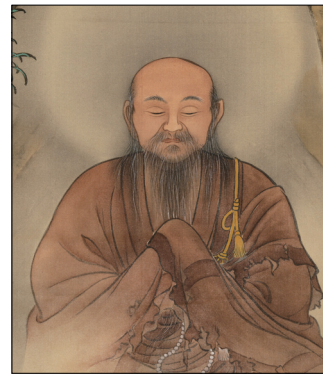
本年中に、設計と基礎工事を終え、来年中に建築・竣工、再来年春に仏具等の荘厳を整え秋の落慶を予定しております。

お経の中に『仏道を成就する正路に二種あり。一つには定恵門、二つには福德門。定恵門とは正法を開き読誦し書写し、座禅等をなす。福德門とは、寺・塔を建立し、仏像を造り、其他仏の為に諸種の物を施入して仏法を擁護する。仏・菩薩皆此の二門を修し、三世にわたり福地円満す』とあります。

ここに大師堂・御影堂を建立し、お大師様への報恩謝徳の微意を奉ずるものとして、是非とも無魔成満を願うものであります。

諸般の情勢大変厳しき折、十方有縁の檀信徒各位発願者の悲願を哀愍いただき、何卒心分の浄財をご喜捨賜り、この浄願が成就されんことを偏に懇願申し上げる次第であります。

尚、ご寄進の詳細につきましては改めて別紙にてお願い申し上げます。

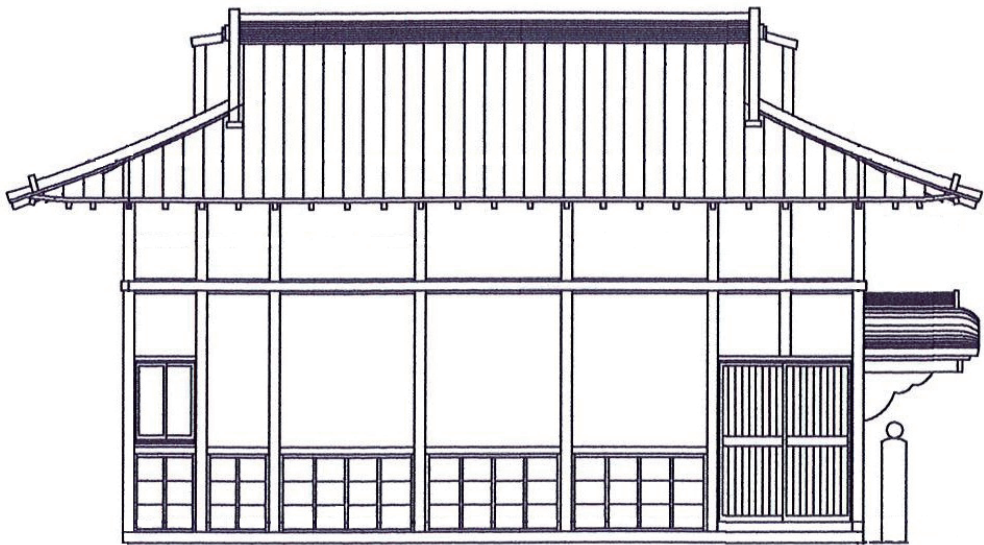


明星院

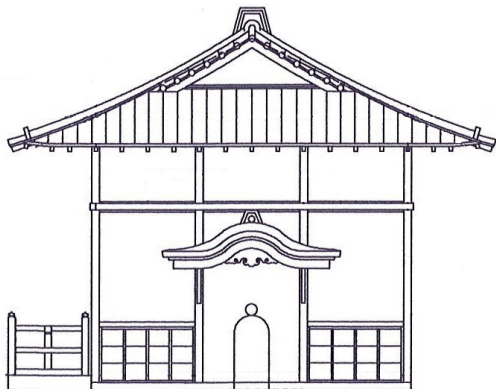
住職 八木恵生

合掌

大師堂完成予想図

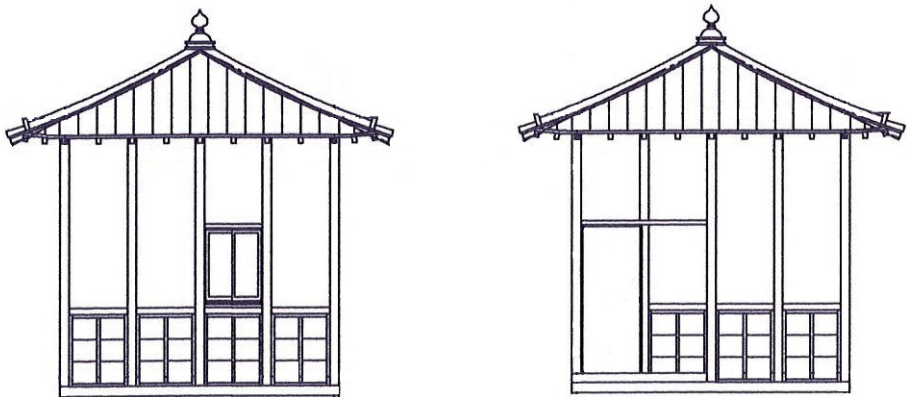


本堂東側より側面図



修行大師 正面図

御影堂完成予想図



四国八十八ヶ所霊場巡拝者名簿

昭和59年～令和3年（40年間）五十音順

青木	育子	岡村	博子	斉藤	満子
青山	アヤメ	小川	栄子	西田	サツエ
足立	ルリコ	奥田	百合枝	西田	巴
阿部	洋子	尾越	タミ子	佐川	弘平
新井	やす子	落合	スミ子	佐川	すみ
荒岡	秀子	鍵本	富久枝	佐々木	馨
安藤	ヨシ子	風岡	文枝	佐々木	静枝
飯田	久子	桂	澄子	佐々木	チサコ
池上	長子	金森	政子	佐々木	チヅエ
石井	房子	上岡	敬子	佐々木	信子
石井	ミドリ	川端	節子	佐々木	美代子
石井	ヨリ子	川原	カツエ	重川	櫻子
石本	啓子	岸田	礼子	重村	寿子
伊藤	恵美子	北川	妙	四反田	セツ子
井上	瑛子	木村	良子	篠原	ヒサ
今元	智鶴子	久田	信行	清水	トシ子
岩本	勢津子	久保田	和子	下條	いせ
上野	順子	熊谷	公昭	下田	実
上野	展史	熊谷	富美恵	新谷	シズエ
上野	智史	黒紙	寿満子	進藤	俊雄
上野	真史	桑野	信子	新中	陽子
上野	妙子	小谷	シズ子	新山	一三
梅林	保男	小早川	カスミ	新山	京子
江口	清乃	小早川	瀧子	住田	絹子
大迫	清士	小山	延子	角本	貞子
大迫	ヨシ子	細工	辰夫	角本	清美
大町	美智子	細工	鈴枝	巢守	志子
岡田	登喜子	斉藤	治三	大道	エミコ
岡田	寿信	斉藤	幸子	高橋	貞子

四国八十八ヶ所霊場遍路の旅

第一期第1回	阿波之国	昭和61年 3/27～30	17名
第2回	土佐之国	62年 3/25～28	23名
第3回	伊予之国	63年 3/24～27	25名
第4回	讃岐之国・高野山	平成 元年 3/26～30	34名
第二期第1回	阿波之国	2年 3/26～29	27名
第2回	土佐之国	3年 3/27～30	35名
第3回	伊予之国	4年 3/26～29	37名
第4回	讃岐之国・高野山	5年 3/24～28	35名
第三期第1回	阿波之国・別格霊場	6年 3/24～27	42名
第2回	土佐之国・別格霊場	7年 3/27～30	40名
第3回	伊予之国・別格霊場	8年 3/25～28	37名
第4回	讃岐之国・別格霊場・高野山	9年 3/24～29	37名
第四期第1回	阿波之国	10年 3/23～26	29名
第2回	土佐之国	11年 3/24～27	35名
第3回	伊予之国	12年 3/27～30	37名
第4回	讃岐之国・高野山	13年 3/26～30	26名
第五期第1回	阿波之国	14年 3/25～28	29名
第2回	土佐之国	15年 3/25～28	37名
第3回	伊予之国	16年 3/22～26	42名
第4回	讃岐之国・高野山・吉野	17年 3/22～26	34名
第六期第1回	阿波之国	18年 3/27～30	35名
第2回	土佐之国	19年 3/26～29	37名
第3回	伊予之国	20年 3/24～27	27名
第4回	讃岐之国・高野山	21年 3/23～27	28名
第七期第1回	阿波之国	22年 3/23～26	30名
第2回	土佐之国	23年 3/22～25	22名
第3回	伊予之国	24年 3/26～29	20名
第4回	讃岐之国・高野山	25年 3/21～25	22名
第八期第1回	阿波之国	26年 3/25～28	12名
第2回	土佐之国	27年 3/29～4/1	12名
第3回	伊予之国	28年 3/29～4/1	12名
第4回	讃岐之国・高野山	29年 3/23～26	12名
第九期第1回	阿波之国	30年 3/30～4/2	9名
第2回	土佐之国	令和 元年 3/25～28	6名
第3回	伊予之国	2年 3/24～26	7名
第4回	讃岐之国・高野山	3年 5/10～13	9名

巡拝の軌跡

昭和59年1月21日～3月12日 (52日間) 山主徒歩巡拝
(弘法大師御入定1150年御遠忌初大師に発願)

昭和61年3月～令和3年5月 (36年間) 檀信徒団参
延べ参加人数958名

四国八十八ヶ所霊場巡拝無魔結願成就

高野山奥の院でお大師さまに報告謝徳の御礼参り
第九期第四回巡拝 五月十日～十三日

本年の四国遍路は、コロナ禍で諸行事の延期・中止が多い中ではありましたが、感染予防対策を徹底しての巡拝を行いました。参加者全員無事に帰広し二週間後の確認でも元気に過ごしておられました。

前号で詳細をご報告した通り、今回の遍路をもちまして、四国巡拝を一日休止すること致しました。三十六年間に亘り多くの檀信徒の皆様とバス巡拝を通じて布教伝導出来ましたことに心より感謝申しあげます。改めて一枚くんの写真を見ながら、それぞれの思い出を懐古しつつ、大師御宝前に結願成就のご法楽を捧げました。

時が移り機が熟しましたら、宏雅副住職の先達で巡拝を再開する予定です。しばらくお待ち下さい。

三宝院 北面大師



奥之院参拝後、三宝院の北面大師像の特別参拝が許され、御尊像を間近に拝し感涙の御宝号を唱えました。
この像は、高野山(南山)から京都御所の帝を拝しておられる姿ゆえにお顔が北向きに造られている為、北面大師と云われています。

大師と共に

すげの小笠に雨風を
大師のみ跡ゆく我の

さけて浮世を幾山河
おぼつかなしや救いませ

おん名唱ふるその時は
守りとりすとのたまひし

そばに大師の寄添いで
宏大無辺の御恩徳

大師離れて我はなく
同行二人有難き

我を離れて大師なし
南無大師遍照尊



第八十八番 大窪寺
大師堂特別内拝を
終えて結願す



高野山奥之院
無明の橋に於いて